



新年明けましておめでとうございます。本年もご家族皆様にとって、お幸せな一年でありますように心よりお祈り申し上げます。

今年も、こども園全職員の希望と願いは、一人一人のお子さんが、笑顔で健やかに過ごし、生きる力を培い、成長していく事です。子ども達の心と体の健やかな成長の為に、保護者の皆様と、こども園とが手を携えて進んでいけますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

園長 伊藤 陽子



### 【1月の予定】

- ～3日(月)年始休園
- ～7日(金)1号認定冬季休暇
- 12日(水)サッカー教室(5歳児)
- 13日・27日(木)学びタイム(5歳児)
- 14日・21日(金)体操教室(3・4・5歳児)
- 18日(火)誕生会
- 19日(水)避難訓練
- 20日(木)科学タイム(5歳児)
- 25日(火)2歳児保育参観・懇談会  
5歳児懇談会
- 26日(水)1歳児保育参観・懇談会  
4歳児懇談会
- 27日(木)0歳児保育参観・懇談会  
3歳児懇談会

### 【2月の予定】

- 1日(火)そりすべり  
予備日8日(火)
- 3日(木)豆まき
- 4日・18日(金)体操教室(3・4・5歳児)
- 9日(水)誕生会
- 10日・16日(木)学びタイム
- 24日(木)学びタイムフリー参観
- 17日(木)科学タイム(4歳児)フリー参観
- 22日(火)お店屋さんごっこ
- 25日(金)避難訓練

## お知らせ



- ・こども園への年賀状ありがとうございました。職員一同楽しく読ませて頂きました。
- ・1月は保育参観やクラス懇談会を行う予定です。新型コロナウイルス感染症状況によっては変更もあるかと思いますが、お子様の園での様子を保護者の皆様と共有したいと思っております。是非ご参加下さい。詳しくは配布したプリントをご覧ください。

## ご家庭で出来る 「非認知能力」

### を育てる遊び

### 親子で絵本の世界へ

絵本は、私たちを物語の世界へ連れていってくれる魔法のツールです。たくさん読んだり、しっかり理解したりすることが重要なわけではありません。絵本を通じて、さまざまな世界へとそれぞれの興味の幅を広げていくのです。子どもの知的好奇心を旺盛にするためには、ゆっくと熟成の時期を見守ってあげてください。



#### 「絵本を楽しもう！」

- ・子どもはくり返し、くり返し同じおはなしを読んでもらうのが大好きです。同じ結末に安心し、くり返されることで言葉をどんどん吸収していくのです。
- ・子どもが何かに興味を持ったら、一緒にそのことについての本を見てみましょう。

#### 「いつでも、どこでも、物語の世界へ！」

- ・何度読んでも子どもが必ず笑う絵本、というものがあります。本との幸せな記憶を持つ子は、大きくなっても自然と本を読む子に育ちます。
- ・悲しいおはなしを読んだら子どもが泣いてしまった…という経験もあるかもしれません。子どもは物語を通じて、登場人物に共感できる力を養っているのです。
- ・絵本をたくさん広げる、という行為そのものも楽しいもの。その世界に没頭している姿もよく見かけます。



### 絵本のおもしろさに出会うために

子どもは絵本が大好きです。絵本の何がおもしろいのでしょうか？1つ目は、絵や色など(視覚)、2つ目は、音や言葉(聴覚)、3つ目は、好きな動物や乗り物などが出てくるものに興味を持ちます。そして、4つ目は物語のおもしろさ、5つ目は読み手とのやりとりのおもしろさです。小さい年齢は、絵本を介して自由にやりとりをして、あそぶような感じが子どもは大好きです。年齢が上がるにしたがって、じっくり読んでもらうことが好きになってきます。いずれの場合も親子で楽しむことがポイントです。

※参考文献「非認知能力を育てるあそびのレシピ」

# 12月の子ども達の姿

毎月2クラスずつ紹介していきます。

## ひよこ組

●保育教諭や友達に興味を持ち、やりとりをしたり一緒に遊んだりすることを楽しむ。

(12月のねらいより)

保育教諭とやりとりをしたり、友達の遊びに興味を持ち、模倣して遊ぶことを楽しんでいました。保育教諭が仲立ちしながら、友達と過ごす楽しさに繋げています。



保育教諭が「あーんは？」と話しかけると、スプーンで食べさせてくれました！

「大きな太鼓、どーんどん」と歌をうたうと、ソフト積み木を太鼓に見立てて2人で叩き合っていました。



「かんぱいしよう」と声をかけると、2人でコップを合わせていました。その後は、ジュースを飲む真似をしていました。



## きりん組

●様々な素材や道具に触れながら、制作を楽しむ。

(12月のねらいより)

スズランテープやタコ糸、チラシなどを使ってバックや凧、紙飛行機など個性のある素敵な物を作っていました。作り終わった後は、ホールで実際に飛ばしてみたり凧上げは次の日に戸外でやってみたりしましたよ。

工作した凧や紙飛行機をホールで実際に飛ばしてみました。「見て！飛んだよ！」と嬉しそうに教えてくれました。



「この長さだったら飛ぶかな」と長さを調節したり「重いのかな」とちぎって軽くしたり工夫していました。



「何を作ろうかな」「スズランテープ貼ってみたら」とお友達に相談しながら制作を楽しんでいました。

